

長崎グリーンヘルパーの会会報

発行責任者 会長 前川文雄

美味しかった！ 綺麗だった！賑やかだった！

会員懇親花見



3 月 26 日 12:00～ 場所 水辺の森公園

参加者 前川,栗山,多田マ,松下,宮崎,根岸ユ,根岸マ,大島,山本,小林,片山,
細川,越田,馬場,森,汐除

総会終了後、近くの水辺の森公園まで歩き昨年の立山に続き花見を開催した。雨上がりで少し肌寒かったが、桜は丁度満開で、幹も結構大きく育ち、本数も多く、街中に近いことなど花見所として良い場所になりつつある。

参加者には、大島さん、山本さんなどしばらく顔を合わせていなかった人とも歓談でき、近況などの話で盛り上がった。 (森 俊一)

水辺の森公園



令和 5 年総会

活動の活性化、方向性で活発な討議

日時 令和 5 年 3 月 26(日)10:00～12:00 場所 出島交流会館

参加者 前川,栗山,多田マ,松下,宮崎,根岸ユ,根岸マ,大島,赤水,小林,片山,細川,越田,馬場,森,汐除

活動報告 会主催事業では昨年比活動回数は大きな変化ないが、1 回の活動参加者数減少が目立つ(比較的ハードな活動への参加者数減)

会計決算は約 35 万円規模の収支で前年と殆ど変わらず、健全を維持している。

最後に会の現状と今後について全体討議をおこない、様々な意見が出て活発な討議となった。

活動への参加者減少については、高齢化が進む中どこの団体も抱えた問題で、妙案は無さそうだが、活動内容のソフト化(方向性を徐々に見直す)がキーになりそうだ。

遠藤周作文学館屋外整備

(長崎市東出津町)

3月19日(日) 参加者 峰,片山,久田,田中,栗山,汐除

遠藤周作生誕 100 年の記念行事が多く行なわれ、多数の来館者が訪れているが、注意しながら整備活動をした。

今年最初の活動で、西側のツバキ、ハマボウ植栽地の草刈りと剪定、アジサイ植栽地周りの草刈りを重点に作業した。

汐除さんはここでの活動は初、栗山さんは久々という、フレッシュな顔ぶれでの活動であった。



入船町竹林整備

(長崎市入船町)



3月18日(土) 参加者 栗山,小林,多田マ,田中



梅松鶴竹林整備

(長崎市西坂町)



1月8日(日)	参加者	多田マ,栗山,田中,小林
2月5日(日)	参加者	多田マ,栗山,田中,小林
2月12日(日)	参加者	多田マ,栗山,田中,小林
3月5日(日)	参加者	多田マ,栗山,田中,小林,前川
3月12日(日)	参加者	多田マ,栗山

庭木整備

2月19日(日)参加者 前川,栗山,小林,多田マ,田中,
細川,馬場,汐除,森

古賀さん宅庭木スッキリ

NGH 会員の古賀さんから以前より、自宅の庭木を整理してほしいとの要望が出されていたが、ようやくこの時期に実施することができた。

朝方降っていた雨も作業開始の 10 時頃には上がり、参加者 9 人の多数により取りかかった。

庭は相当広く、樹木や草花も数多く伸び放題のものもある。整理剪定に当たっては、素人庭師であること、剪定時期が必ずしも適期でない樹木も有るので、古賀さん立ち会いのもとに進めた。

3 班に分かれ、特に大きな樹木や大事そうな木の剪定は慎重に進めた。本宅入口付近にうっそうと茂っていた直径 20cm、高さ 5m くらいの榎の木は、高さ 3m くらいに切り、枝もずいぶん切り落としすっきりなった。 (森 俊一)



整備前、本宅入口付近



整備後、本宅入口付近の榎の木

切り取った枝はトラック 1 台?!



剪定中



うずたかく積んだ切り取った枝

その他、椿・枇杷・ツツジ・モモ・コブシ・ツゲ・モクセイ・ナンテン・などなど名前も分からない樹木も多数、それでも 15 時ころには目処がつき終了した。

プロの仕事でないため、出来栄には多少目をつむってもらふことにし、長年検案だった庭木の整理ができ、古賀さんも一安心の様子だった。

切り取った枝は庭の片隅に積み上げたが、小型トラック 1 台分ほどにもなった。

農業体験

(雲仙市瑞穂町)



3月4日(土) 参加者 片山,中橋,峰,細川,森,梅澤夫人

畑シーズン幕開け 春ジャガ植付け



ジャガイモ植付け場所



極早生タマネギまもなく収穫

活動内容 春ジャガの植付け、タマネギ草取り、畑境木の整理

ここ数日やや春めいた温かい日が続き、畑シーズンの幕開けとなった。

春ジャガは近郊の専業農家では、マルチをして 2 月から植付けしているが、マルチ掛けをしない私たちは今日が植付け日。あらかじめ耕耘して頂いていた場所に、白芋と赤芋 6 畝(約 10m)を植付けた。

植付け方法はいつも通りで、種芋の間に堆肥をまき、土を比較的浅く被せた後化成肥料をまいた。芽が出た後、4 月には追肥と土寄せを行ない、畝を高くしていく予定であるが雑草との戦いが始まる。

(森 俊一)

ハイキング部



1月29日(日) 参加者 小林,栗山,前川,馬場

帆場岳ハイキング

低山歩きお勧めの場所

9:50 現川峠、道路脇の登山道より登る。

歩きやすい山道を踏みしめて歩く。明るい山林の中を50分ほどで帆場岳山頂、505.9m長崎市北部最高峰、市内各方面を見ることができます。長崎の町がけっこう奥深いことに気がきました。

小休止の後、小林リーダーの案内で、キャンプ地に最適な桜の大木のある場所に出会えたり、伐採後に杉、檜を植林された山間を1時間ほどゆっくり歩き、見晴らしの良い現川広場に到着。

11:40 眼下を眺めながら昼食、休憩。

12:15 登山口へ戻り、現地解散しました。

歩き始めは、チラホラ小雪でしたが、気持ちの良いハイキングでした。

後日、還暦記者(テレビレポーター)の帆場岳登山を見たら、ヒメシヤラ(夏ツバキ)が6~7月頃見られるそうなので、楽しみできました。(馬場 さつき)



帆場岳山頂

金比羅山とジョン万次郎

歴史上の伝説の人も登った山



金比羅山頂の鳥居



金比羅大神の祠



ジョン万次郎が登った御朱印と神前幕

長崎七高山の一つ、金比羅山には、坂本龍馬、岩崎弥太郎らに多大な影響を与えた伝説の人、ジョン万次郎が今から172年前3度登ったとの記録にあります。

四国土佐出身の万次郎は、14歳の時漁で遭難し漂流、捕鯨船に救助され、日本人として初めてアメリカに上陸、その後、英語、航海術、造船技術等を学び、日本に密航し琉球に上陸したが捕らえられ、薩摩から長崎へ送られ長崎奉行所で9ヶ月間、密航等で取り調べをうけたり、その間、長崎の寺社や金比羅山には三度参詣したと言う記録が残されている。

郷土史家故越中哲也先生他、有志がジョン万次郎の足跡を明らかにし、令和3年11月、ジョン万次郎が金比羅山詣170年であることを記念して、御朱印と神前幕を奉納している。

以上のように、金比羅山は私たちの身近な山で、立山公園から約1時間余で登れる。また170余前伝説の人万次郎が登った山としてジョン万次郎を身近に感じてみてはいかがでしょうか。

(小林 征雄)

植物の知識

サネカズラ



サネカズラ



サネカズラ果実酒

生薬・五味子酒

マツブサ科サネカズラ属(モクレン科) (別名ビナンカズラ)

生薬名を南五味子という植物で、利用部位はつる、葉、果実の三つ。効果は強壯剤、肝炎、喘息、胃弱に効き、山道や山手の公園の茂みに分布する。今回サネカズラの実を採取し果実酒を造りました。

サネカズラの実 1 に対し焼酎 2 の割合で小瓶に1年以上漬けると果実酒(五味子酒)ができました。これを毎日チョコ一杯ずつ利用すると元気になります。

写真は一昨年冬、サネカズラの実を漬けて造ったものです。

(小林 征雄)

ミヤマシキミ

ミカン科ミヤマシキミ属 常緑低木で有毒植物

最近、鹿による食害で全滅する野草や高山植物、樹木など深刻な問題となっていますが、ミヤマシキミはその心配がない植物です。

3~5月に白い花をつけ、12~2月に赤い実をつけますが、誤食するとけいれんを伴う中毒を引き起こすので要注意の樹木です。

(小林 征雄)

有毒植物



ミヤマシキミ(R5.1 県民の森で撮影)

スプリング・エフェラル

植物の中には、春の一時期にしか地上に姿を現さないものがある。代表的なものにカタクリ(ユリ科)がある。カタクリは、落葉樹林の下に群落を作り見られることが多い。早春雪が溶けて地肌が表れると、芽を出し葉を広げ3~5月にはピンクの花を咲かせる。そして葉で養分をつくり鱗茎に蓄え、他の植物が葉を茂らせる6、7月には地上部は枯れて次の春まで約10ヶ月間地中で休眠して過ごす。

このように春のわずかな間だけ活動する植物は「スプリング・エフェラル」(春のはかない命)と呼ばれている。

スプリング・エフェラルと呼ばれる植物は、いずれも小柄な草本であり、地下に根茎や球根を持っているほか、花が大きく、華やかな色彩を持つものが多い。(カタクリ、アマナ、ショウジョウバカマ、イチリンソウ、ムラサキケマン等)

春のはかないいのち



イチリンソウ



カタクリ



アマナ(近くの川沿いの土手撮影 R5.3)

ムラサキケマン(近くの山沿いの縁で撮影 R5.3)

野鳥観察



10月から4月に見られる冬鳥

小林 征雄

オナガガモ

全長 75cm 生息地；湖沼、内湾など、

分布；全国

雄は頭部がこげ茶色で首の前面が白い。

尾が長い淡水ガモで、首が長いため他のカモより深い水底の水草を食べる。



ヒドリガモ

全長 49cm 生息地；海岸、内湾、湖沼、川など

分布；北海道から九州

雄は頭が赤褐色で額から頭頂がクリーム色。

海上ではアオリなどの海藻類を好んで食べる。

特徴としてくちばしと首が短い。

ハシビロガモ

全長 50cm 生息地；湖沼、河川など

分布；北海道から九州

特徴は大きく幅の広いくちばしで、大形の淡水ガモ。

ハシビロガモのくし歯は細かく、他のカモに比べ小さなプランクトンや草の実も食べることができる。

